



第 7 號

發行所 郡民館 額田郡 額田町 幸田村 幸田印刷所 愛知縣 岡崎市 岡崎一丁目



讀書のすすめ!!

「おりに遊ぶ暇はある人の暇なしとてふみ讀まぬかな」

働く青年には閑がない。人一倍まじめに働く青年には更がない。農工の身体を以てする勤勞には閑あればすぐ休息と睡眠である。この間に讀書するは容易でない。

青年二宮金次郎は、十四歳から草刈の往復に、深夜あんどんのおかげでまた米をつきながらこれをやりつづけた。

古人は「夜は晝の余、雨は日の余冬は歳之余」の三余を讀書の時といひ「鞍の上、厠の上、枕の上」の三上を讀書の所といひ、寸暇寸所を選んで勉學した。作ればあり、さがせば出てくるのは肥料と暇である。

「百姓に學問はいらねえ」と萬兵衛に叱られながら「家を興しりつばな

百姓になり、人間になるには學問が必要だ」とがんばり續けたのが、あつりし日の青年金次郎であり、それが今日の尊徳を産んだのである。

今や灯火親しむ讀書シーズンで第三回新聞週間も一日から始まつてゐる。二十七日からは讀書週間も展開されます。

さあ皆さん。たばこ一服のむ閉に良書の一行でも讀みましょう。そして他國にまけない文化のかがり豊かな平和國家建設につとめましょう。

大 草 分 館

巡回文庫を

活用しましょう

萩 分 館
久 保 田 分 館



國民たすけあい共同募金に就て

幸田村共同募金委員 伊 野 鯉 之 助

國民たすけあい共同募金の始まりましたのは昭和二十二年で、それから毎年行われました。今年はその第四回目が十月一日から月末まで展開されます。この運動はアメリカの方から日本の社會事業のやり方について指導を受けて日本の不幸な人を救う爲の運営資金は國民の愛の心持ちからなる自發的の寄附金であるのが至當であるとの趣旨でやるようにとの事で行われてまいりました。國民皆様も年を経回を重ねますにつれて趣旨の御了解が出来てまいりました。額田郡の例をとりますと昭和二十三年は目標額一〇六七、七〇〇圓に對し実績九九七、二九二圓で九二%。昭和二十四年は目標額九八四、三〇〇圓でその実績は一〇八、一%で年を追うて成績は向上する傾向であります。そこで本年二十五年度の目標額は愛知縣五千六百萬圓、額田郡八十三萬九千三百圓であります。十月一日から月末までの運動實施期間中にどんな成績になりましたでしょうか。良い成績で不幸な人がよく救われるのも若し不成績で恵まれないのも村にお住いの皆様方の御心持ちでどうでもなりますこと故、本年は前年よりまたよく困つた人が救われますよう御理解ある御援助をたまわりますよう御願ひ申し上げます。

次に募金の配分であります(1)百ハ一セン以上お金が集りますればそれは全部村の福祉協會へかえつて來ます。昨年もそうでした。(2)配分の對象をA級B級とに分けますが、A級とは縣でお金を配分する團體施設でそれに二千四百七十萬圓で乳兒保護、養護、聾啞兒、精神薄弱、母子保護、醫療保護、養老、司法保護、收容保護、生活援護、經濟保護、指導連絡、身体障害等に配分いたしました。B級としては保育園のような施設、各市町村福祉協會の事業費へ配分するのでその額は二千六百五十二萬二千八百圓であります。尙、細かに申上げたいのでありますが、今回はこれでおきます。

青少年司法保護と不良化防止

少年司法保護司 石川庄平



九月のナトコ巡回上映の時「夢ぞ果てなし」を皆さま大勢御覧下さつてありがとう。その折の説明で大体おわかりと思うが、昨年六月施行の犯罪者予防更生法に基き努力する覚悟である。要は犯罪者の更生よりも犯罪を未然に防ぐ協力が第一と心得ます。皆様の御後援をお願いします。

一人には各々長所と短所がある。長所とは他人のまねのできないよい所であり、短所とは他人にもまして悪い所である。たとえ愚者でも智者も及ばぬよい所を持つている。だから人の長所を知つて使えば天下に捨て

る人はない」と貝原益軒先生はいわれた。犯罪者でも良心もあれば長所もある。その長所を見出して補導援助をしたいと思つている。

由來日本人は世界で一番子供を可愛がる國民だと誇つて来たが其の實子寶といつて親の私有物として溺愛したり又反對に買賣の對象としたし歐米より確かに進んでいるとはいえない。その結果は戦後急に青少年に基本的人権を認めながら正しく保護する力は弱かつた。はきちがえた

自由は責任を忘れ放縱となり、環境は亂脈を極め青少年の不良化は甚しく犯罪は随時隨所に氾濫した。故に健全な育成と強力な保護教化の實施が急務となり第五國會は青少年犯罪防止及び不良化防止の兩決議を行つた所以である。

不良化の原因や防止の家庭の策は廣報第四號四頁にあるから今一度よんで反省して下さい。
◎人間が本當に悪くなると他人の不幸を喜ぶより他に興味をもたぬ。

◎善を行つたことを誇るならば善も善でない。悪を行つて悪を行つた事をはじ攻めるならば悪も悪でない。よく慎んでごうまんを去り、靈榮の心を捨てることがよい。そうして謙遜の性を養い反省の徳を持つようにするがよい。 —ベンジョンソン—

時十一月三日文化の日 十時から 三時まで

●村民体育大會

處 幸田中學校



窓邊に想う

天野 昊

ものいわぬ四方のけだものすらだにも、あわれなるかな親の子を思う。私はふと年若くしてこの世を去つた源實朝のうたがうかびました。子を持つ親の厚い恩愛の情がしみんと感ぜられます。

何時になつても變ることのないのは子を思う親の心でありましょう。この頃は世の中のこと複雑となつて日々の生活も大變なことでありますので正直なところ我が子のことすら十分にはできないのでありましょう。考えてみれば青少年こそ明日の日本を背負う尊い使命と責任があるのでありますがこの青少年の犯罪が最近では憂慮されてまいりました。

ある少年の告白の中に「家はまるで喧嘩の巢の様なものです。學校を終つても家へ歸るのが恐くてたまらない。お父さんとお母さんが喧嘩をしているか、兄さんとお母さんがのしり合つているか、お婆さんがお母さんに小言をいつているか……。だから人の大勢いる街へ出かけたのです。淋しさがまぎれるから……。でも僕には金がない……。」

それです……。私は會つて多くの恵まれぬ子供達と語つてまいりましただけに何かしら胸に迫るような氣がいたします。西三地區の兒童の諸問題を取扱い溜い手をさしのべている岡崎地方兒童相談所の取扱件數をお伺いすると次の様でありました。

月	一	二	三	四	五	六	七	八
一般家庭警察	13	19	16	19	20	9	22	18
通告裁判署	7	2	18	3	0	0	0	0
計	20	3	12	33	83	23	8	46
	40	24	46	55	103	32	30	46

數多いこの件數は何を語つているでしょう。希望に溢れて正々堂々健かに伸びるべき兒童です。我が子の健全な成長を願わぬ親はないのですが、青少年の犯罪の原因の一つに眞實の愛の欠除をあげねばならぬのは大人にとつて親にとつて悲しいことです。兒童福祉法の總則には「すべて國民は兒童が心身共に健かに生れ且つ育成されるように努めなければならぬ」とかいてあります。兒童を知ること愛することであり、兒童の立場も考へて、溜い眞實の愛の手をかけてやりましょう。「あの子も、この子もみんなの子」

農村の美風

「力になる」ということ

—牛の流感のあとを顧みて—

杉浦亮

世に「力になる」という言葉があります。このたびの牛の流感でつくづくこの言葉の重みを知りました。

「牛が具合が悪い」と聞いて隣家の牛のおる人がとんで来る。そうすると不思議とチカラが湧いてくる牛の病氣について知つておるわけぢやなし、行つたつて何も出来んと言つて寄りつかずには「力にならな」。「そうか」と飛んでくることがチカラになり、その心がチカラになり、その心がチカラを生むのであります。

幸田村に牛の流感が出たと言つて種畜場を駆けたら、杉山場長さんが若い獣醫さんを二人―場長さんの令息と研究生の奥村さん―をおよこしになつた。場の牛が手ぬかりになるといけないから職員は出せない。「だが、ほかで二人を」と言つて都合して下さつた。チカラにならうというお心があつたからであります。神谷普及員が夜も晝もなく獨力で十日

の朝までがんばつてくれたのも、その後、地方事務所、販運郡支所、明治乳業安城工場の獣醫さん達、それから縣の防疫官も来て下さつた。

あいにくジーンとキジャの相次いだ台風のさなか、雨風にぬれて、夜明かしまでして働いて下さつたのも、役場の方々や農協の方々、或は畜産組合の役員方、獣醫さんの宿舍をお受け下さつたお宅の方々、そのほか関係者あげてお骨折り下さつたのは、すべてチカラにならうというお心からであつた。その意識されたかどうかはどちらでも、ともかく事實においてつとめ以上のもの、お役目以上のものが現れていた。それがチカラであります。

ひどく病氣の重い牛のマヤでは五人も六人も人がつききり、さすつたり注射の手傳をして夜を明かした。隣家の人や役員であります。農協へ走る。役場へ電話をかける。畜産組合幹事のもとへ、或は防疫本部へ駆けつけ様子を聞き相談にのる。

そして獣醫さんを案内する。こうした涙ぐましい働きが「牛が具合が悪い」ときいてとんで来る心からはじまつた。そうなければ幹部にしても本部にしても、取込んでいて、一般に状況を知らせることも出来ず、打てる手も打てず、機を失することに。計画をたてて待つておれるのは變事ではない。「變事があれば駆けつける心」「これがチカラを生み秩序を生み、組織を生んで活動は順調になる。村中の牛を一つも死なすま

いという大きな動きになるのであります。牛を飼つておる人々が互にチカラになりあうということは大きな効果をもたらすものであります。牛の流感の場合に限らない。このようにありたい場合は数多い。これは美風であります。特に農村に濃厚に潜在する美風であります。「力になる」という言葉は農村を強く結合させる美風のありかを示しております。

秋分の日國旗掲揚成績

支所名	戸数	掲揚数	百分率	順位	備考
長嶺	63	26	41.27	12	49.24
久保田	62	31	50.00	8	
坂崎	240	105	43.75	9	
大草	263	186	70.72	3	70.79
高力	93	66	70.97	2	
北鶯田	17	11	64.71	4	42.47
鶯田	132	66	50.00	7	
新田	33	13	39.39	14	
岩堀	313	133	42.49	11	45.68
横落	63	13	20.64	16	
萩	119	94	78.99	1	50.43
荻谷	139	57	41.01	13	
幸田	193	65	33.68	15	50.43
里	163	90	55.21	6	
海谷	105	60	57.14	5	
計	2,192	1,099	50.13	10	

幸田中學校の調



ごあいさつ

幸田小學校
尾崎治郎吉

全村民の信望厚い幸田小學校校長中根先生の御退職により其の後任を命ぜられました。昭和十五年四月から五年間坂崎小學校に職を奉じていましたので坂崎學區の方々は勿論のこと村内各位にもお知り合いの方が相當あり、幸田村そのものにも親みがあります。其の上村全体が活氣にみち各方面にわたつて日々新に日々進歩をしています。此の村に奉職の出来ましたことは私の無上のよろこびです。何分にも淺學菲才で學徳共に優れ教育感化の功績極めて偉大であつた中根先生の後をお引受する器でないことをおはぶかしく思います。ひたすら教育に御關心の深い村民各位の御指導御支援を頼みとして及ばざる身ながらも誠心誠意一心につとめて、其の職責を果たしたいと念願するものであります。よろしくお願ひ致します。

赴任の挨拶にかえて

深溝小學校長 堺 義保

謹んで御挨拶申し上げます。

二年半前本村幸田中學校から下山村立花山小學校へ新任校長として赴任致しました。皆様方の御理解ある御支援により大過なく重任の一端を果し今回九月一日付を以て図らずも昔懐しい幸田村へ戻つて参ることが出来ました。これ一重に村民各位の深い御同情の賜と厚く感謝致します。私は幸田村については過去において、幸田、坂崎、中學と前後八カ年程御厄介になり特に御懇意に御鞭撻を賜つたお方も多いので實に心強く思つて参つたわけでありますが、深溝校は始めての赴任のこととて總べてはこれからであります。特に私は微力の者であります。然しながら駄馬に鞭打つて教育道に進進する覚悟であります。皆様方の格反なる御同情と御支援の程をお願い致します。大凡教育は人と人との接觸交渉に始まるのである故お互の立場立場を十分に理解し合うことが必要であります。理解し協力し合うことなくしては何事によらず出来ないと確信します。その場は學校であり、家庭で

あり、社會であるわけです。學校に於ける教育は勿論全責任を負うて致しますが、郷土社會の御協力なくしてはその成果を擧げることとは不可能であります。植物は水と肥料と土地との三條件がびつたり合うときによく育つのであります。教育においてもこの土地は即ち地域社會であるわけで、土地である地域社會が瘠地であつては十分な成果を期することは出来ません。この意味において十分なる御理解のもとに御協力を得まして教育の成果を擧げたいと思ひます。幸に當校は新制中學發足にともない空教室を特別教室に使用出来る様になり、廣い運動場で伸び伸びと兒童達が運動の出来る様になつたことは誠に幸な事であります。然し又その反面當校は今年度に到り學級整理の圈内に入り俄然二學級が減級され學級數に比して兒童數の多いことは縣下第一となり職員之苦境は察するに余りあるものがあります。今後更に残された問題の一端はこの學級の増級と特別教室の充實により兒童の福祉を如何に高めるかといふことや、絶大なる御熱望をかけてみえる公民館の設立を一日も早め社會教育の水準を更に高め、先づ健康

で明朗な獨自性のある幸田村の子供を育成し、科學性に富んだ敬愛と協力により和やかな幸田公民の育成により一圓融合により幸田村の益々發展することを望み所信の一端を述べ赴任の挨拶にかえる次第であります

十月の曆

豊作を祝う祭ばやしも賑かに追えた十月

一日 國勢調査 國鐵ダイヤ改正

新聞週間(七日まで)

二日 吉田首相談話發表、消防檢

閱

八日 防火週間(十四日まで)

十三日 芭蕉忌

十五日 銃獵解禁

二十三日 電氣通信記念日

二十七日 讀書週間(十一月二日まで)

二十八日 國体秋期大會(十一月一日まで) 名古屋

◎運動會

四日 幸田(中)七日 坂崎(小)

深溝(小)

十五日 萩谷(小)

◎分館開館式

坂崎分館九月十八日 長大津米太郎

鷺田分館十月五日 長橋 祐敬



郷土史料

(その五)

幸田村神社名鑑

九月末現在

特殊神事 (彌祭神事)

陰曆六月十五日天王祭を行う。夜に入るを待ちて小提灯千數個に占灯し、是を参道の兩側に引張りたる

Table with columns: 社名, 祭神, 創立, 例祭, 鎮座地, 備考. Lists various shrines like 三村神社, 白山神社, 八百富社, etc.



舊「久保田村」の略歴年譜

額田郡幸田村大字久保田 稻吉範水

Main historical text detailing the village's history from the Edo period through the Meiji and Showa eras, including mentions of various lords and administrative changes.



感想

(生活改善號をよんで)

幸田婦人會 大草支部長 高橋志げ
皆さんの爲になるように。

今度清潔整頓と言う事が生活改善の第一の實踐事項として取り上げられましたことは誠に結構な事でございます。終戦直後の清潔整頓状態から見れば、今日は随分よくなつていますがそれでもまだいけません。ではどうしたらよいでしょうか。それは一人二人でなしに皆んなで協力することです。「仕事が忙しい、掃除などやる余裕があらうか。」では何時までたつても奇麗にはなりませんやると定めた事は、何處迄も一心になつてやつて見る。そうして自分で反省してみる。又皆で反省してみたりや方が悪るかつたら、直してゆくというようではなければならぬと思ひます。外國人は自分の住む家だから奇麗にする。自分の通る道だから奇麗にする。そうすれば自然と自分の靴も常に奇麗になつてくる。というように自己本意に物を考へていきます。それが公衆の爲になつて少しも矛盾する所がない。よい考へは學んでよいと思ひます。私共も自分の爲に清潔整頓したいものです。それが

感涙にむせびて

幸田村未亡人 母子福社會

人のこゝろのまことおもひて 拙い三十一文字にはとうてい盡きないうれしささ有難さに私共の心は感謝の氣持で一杯で御座います。 村内の皆様、先回は誠に有難う御座いました。盛上る會員の聲に協力一致いよ／＼事業に乗り出す事になりましたものゝさてこれを如何にして御願ひ致しかと當惑しました私共は暖い同情の手を差しのべて下さいます。誠にありがとうございます。あの日お暑い中を、遠い道を御越し下さいました皆様方より「御苦勞様」と會員券を出されまますお言葉の有難さ「ようこそ有難う御座いました」と交す會釋のうれしさ、人の情の暖かさに心で手を合せておがみました。

あゝ有難い事私共はこの人のまこと心に助けられるのだ、グチも言うまい嘆くまい、皆様方の厚き思召しに亡き夫等も定めし感涙にむせびました事と存じます。 國政、いはらの道は遠けれど人のまことの、杖にすがりて杖とも柱とも頼む夫に先たゝれた私共は厳しい生活難にともすれば母子共倒れようとする時も御座いました、淋しさに杖を濡した夜もありましたが幾星霜の今日こうして母子共に堅實な歩みを續けさせて頂けました、父の顔を知らない子供も學校へ行くようになりました、今一息も一息と私共は夫の意志を固く強く正しい道を生きて参ります。 何卒宜しく御力添の程御願ひ申し上げます。

感涙合掌

募集 生活改善 いろいろがらた ○生活改善の全般に渡り具體的のことがらをよみこむ。 ○一人でも、數人の合作でもよい。 ○優秀なものは、紙上に掲載します。 ○切 十一月十日

性病予防

厚生 生 課

性病の慢延状況は表面上漸次下降の線をたどりつゝあるが、まだ戦後の世相は依然として經濟的思想的悪化の域を脱していない。中でも性道徳の頹廢は著しく性病慢延に一層拍車をかけている現状である。而して性病は家庭に浸透し社會的悲劇を醸成しひいては國民資質の劣等化を招来しようとする現状であり甚だ憂慮にたえない問題である。性病の予防撲滅運動の成功は平和的文化國家の建設と明朗な家庭造成に最も必要である。今回全國一齊に展開された同運動の眞意を解され目的達成に努め家庭内への性病浸入を防ぎましょう。 ○賣笑婦等の危険性に性交を禁止 ○罹病後は醫師の正しい治療を ○罹病者の混浴嚴禁 ○結婚時の健康診斷書交換實施

幸田村商工會の誕生

予て要望されていた商工業者の團體結成の機運熟し去る五月二十三日百四十五店の参加を得て公民館で結成式を擧げた。 會長 星野 桑吉 副會長 星野猪三郎 會計 鶴田 高次 幹事 星野壽一、岩瀬伊太郎 小林武夫、山下 蘇我 未加入の方の入會を希望します。



短歌入門講座(二)

杉浦亮一

歌はころがつている

「歌にはどんなことを詠んだらいいでしようか？」と問はれることが多い。「生活を詠めばいいですよ」と答える。「生活をどんなふうに詠むですか？」——さて、問題はそこからであります。「生活をどんな風

画家の中川一政氏は「教わる」という短文のなかで「例えば木はこう云う風に描けと教える。教わる者は進路を拓かれたと思つてゐるが、實は進路をふさがれたのである。教わる者はそれ以外の見方が出来なくなる」と書いてゐる。つまり、「教えることも出来ない」「わかつてしまつた人もない」といふべきでしょう。その筈であります。創造でありますもの！無限につづけられる創造であります。何をどんな風に詠むかは、生涯苦心の焦点であります。では、行詰り

ばかりかといへば、面白いことには歌はころがつているのです。生活の中にいくらでもころがつているので、それを発見すればいい。見つけて拾えばいいのです。こう云つてしまへば、甚だ易々たることになりま

先人はどんなものを見つけたか、同行の友は何を発見したか。それを見ようとすること、即ち鑑賞の意義はこゝにあります。どんなはじめの人も、素晴らしいものを見つけたことが出来る。眞面目な眞剣な生活の中からでない、本ものはみつきりません。

短歌募集

- 一、題 秋の草花
- 一、送先 十一月十日
- 一、送先 廣報係宛
- 一人二首

十月の改善メモ

生活改善係

氣遣れました台風も幸に大きな事もなくて黄金の波うつ稔りの秋が訪れました。ドン／＼と何處かで祭たいこの香がして居ります。新しい鎮守様のお祭り時になりました。今日はおそこへ明日はこゝへとよばれて行かれる事は結構ですが食べすぎでお醫者様をよばないように注意して下さいね、九月の生活改善懇話會で秋祭期の食生活について協議しました。一年に一回の鎮守様のお祭りに行つた娘も来る婿も来る可愛い孫も来るあれも食べさせたいこれも食べさせたい親心に御馳走するなどは申しません、お祭前後の食事について粗食しないように栄養を考へた食事をするよう議決今月は食生活の改善のお話にしました。お祭にはうんと御馳走しなければならぬから今日は漬物でおこう、お祭の御馳走で澤山お金費つたから節約して味噌と漬物位で、すごさうこれではいけません。殊に祭後は秋の取入れの農繁期に入りますから特に栄養食をとつて大いに働いて下さい、大飯喰い止めて栄養本位と叫ばれています

が一体栄養素とは何でしょう。

私共の身体に必要な栄養素とは

1. 蛋白質は身体を作る。植物性(豆類)、動物性(卵、牛乳)
 2. 含水炭素は活動力となる。(米、麦)
 3. 脂肪(同)、油、牛肉
 4. カルシウムは骨を作る。(小魚、卵、黄バター)等である。
 5. ビタミンは身体の調子をよくする。栄養素が充分でもビタミンが不足すると体に障害が起り病気になる。ビタミンには五種ある。
 - A 發育を助け抵抗力を増す、牛乳、トマト、卵、蔘、ほうれん草
 - B 脚氣の予防、牛乳卵、半搗米人蔘
 - C 壞血病予防甘橘大根、馬鈴薯人蔘
 - D 骨齒の發育を助ける、卵、バター、肝油
 - E 妊娠率の向上米麥の胚芽、甘藍
 6. 食塩の補給、(汗と共にでるから)
- 以上六種の栄養素が身体に必要です。栄養食といへば魚や肉を食うのだからせいたくだ。そんな事は御免だといわれるがそれは誤つた考えです。私たちの手元にある材料を色々まぜ油でいためたり、ゴマで和えたり安い煮干卵昆布をたべ牛乳をのむことで充分栄養はとれます。今迄の腹さえふくれたらとご飯を澤山食へお菜の栄養を考えなかつた大飯喰いの悪習を止めお菜で栄養をとつて頂きたいのです。

廣報
短歌

「秋の空並に雑詠」

○ 丹羽 昭 吾
空の色は秋の蒼さに變りたり燕は
すでに飛ぶこともなく

○ 菅沼のぶ江
白萩のこまかなる花の散りつづく
静かなる庭に秋の親しく

○ 小野みね子
風におつる柿三つ四つとかぞへつゝ
添寝すれば子のね息やすけき

○ 太田 光 雄
澄み渡る空にむかひて立つときに門
田の穂波音たえまなし

○ 永井 一 蝶
出穂の田は月のあかるさとなりにつ
ゝ祭稽古の太鼓鳴りいづ

○ 川口 風 美 子
いつしらす空にたちたる黒雲の氣に
かかりつつ桑摘みてをり

○ 杉浦 亮 一
露深き朝明を畦にたたづみて垂れそ
めし穂を手にとりて見る

○ 小川 き み
子の誰か百日草を挿しかへぬ拓本の
石佛彌勒像のまへ

○ 志賀文郎
熟柿の注文を受けもぎつれどのこす
一枝は病む夫がために
書よむと机に向う老える身の手足
つめたし秋の夜の風

農道歌

深溝時報 K S

一、嗚呼健康の衣きて

光のもとに耕しつ
自然にいとむわが生業
その一日ぞ樂しけれ

二、且に星を戴きて

夕に踏む月月の道
勤勞こそわが誇り
實に農道に神聖ぞ

三、黄金の波のゆさゆさと

群なす空の雀さえ
今日は殊更千代千代と
子々孫々につなぐなり

四、作りを愛しはぐくみて

家畜と悲喜を共にせむ
時代の波は荒くとも
平和を築く礎ぞ

五、住みよいわが村わが家を

手まめ足まめ兄弟
手弱女なけれど姉妹
親の笑顔に通うなれ

●ゆく雲吟社句會報

九、二夜 大草分館

端居して稻妻の田面見渡しぬ 幸山
稻妻や不図幻翳に愛憤を 蒼生
稻妻や汽車に闇夜をつつきり往く 光月

居間の灯の七夕笹に届きけり 芳子
鳴くちゝろほつれ鳴みいてはつと我
に 清

乗鞍の平湯の宿や鯉あまた 時雨
七夕や父祖の傳統うけつきて 峯子
稻妻に土蔵の壁の浮き出けり 竹友

さんざ雨水着の肌を打ち去りぬ 小蘭
物語りわれは母とし星祭り 清風
笹竹の自作の短歌風に鳴る 小夜衣

稻妻の眼に泌みこみし後の闇 波文
稻妻の伊勢路の闇を引き裂きぬ 木の實

小うるさきベットの蠅にいら 大川
星祭百果の供物冷増しぬ 萬津江
氣味悪しき稻妻吾子の歸る頃 壽山

魔の如く稻妻闇をつんざきぬ 弘子
星まつる子に手傳いて色紙かく 美雪

店頭に七夕近きものを賣る 仙有
外風呂の妹浮彫し稻妻す 一際
後より来る足音に稻妻す 千代の

稻妻の消えて山湖の闇深く 風美子
色紙吊る妻の手細し星まつり 一步
稻妻や妻を不遜と哭かしむる 泉

●火の用心の標語

- 1 ポンプで消すより注意で消やせ
 - 2 火氣は消しても注意は消すな
 - 3 守れ火の元 許すな心
 - 4 絶やさぬ注意に 絶える火事
 - 5 消火の百人 注意は一人
 - 6 すぎてもよいのは 火の用心
 - 7 赤字と火事はいつも消せ
 - 8 日毎家毎 火の用心
 - 9 祖國復興打開の道は火の元注意の
第一課
 - 10 火事は心の隙間から
 - 11 外の敵より 内の火事
 - 12 出る時 ぬる時 火の用心
 - 13 はつきり しつかり 火のしまつ
 - 14 勵め 生業 守れ 火の元
 - 15 一日一善 火の用心
 - 16 焼けた心で 火の用心
 - 17 「火の用心」壁にはるより胸にはれ
 - 18 一人の 油断 萬人の不幸
 - 19 ゆだんのない村 火事はない
 - 20 家内揃つて 火の用心
 - 21 小さい注意で 大きな安心
 - 22 火事と 病氣は 油断から
 - 23 シツカリ ガツチリ ヒノヨウジン
 - 24 その日 その時 その手で始末
 - 25 火には 日に日に 火の用心
- (あなたが一番よいと思つた標語をかき出してはつて下さい。そして弘報係までお知らせ願いたい。)